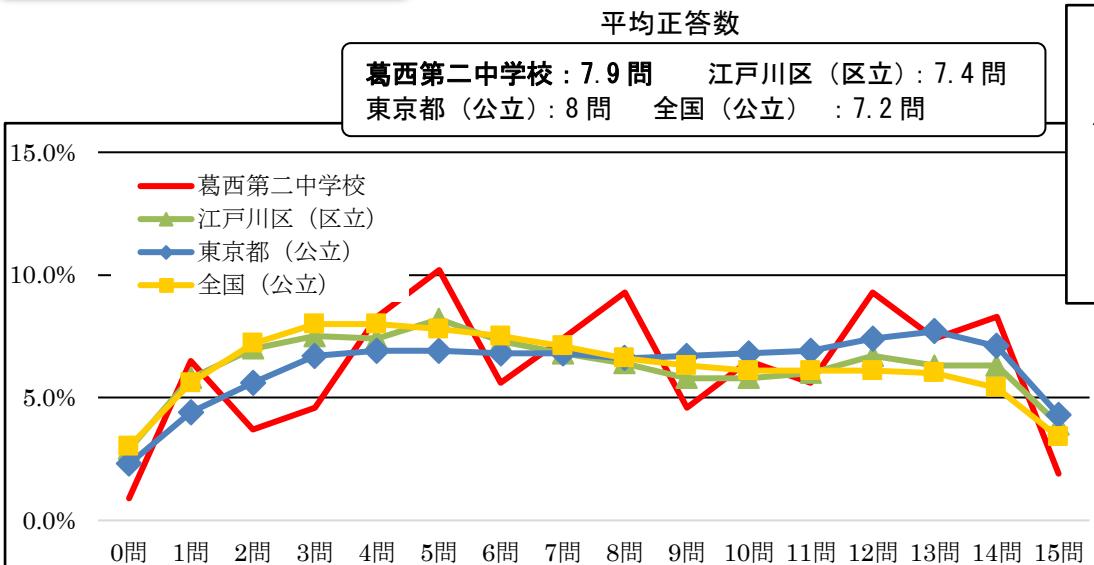


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【数学】葛西第二中学校

正答数分布



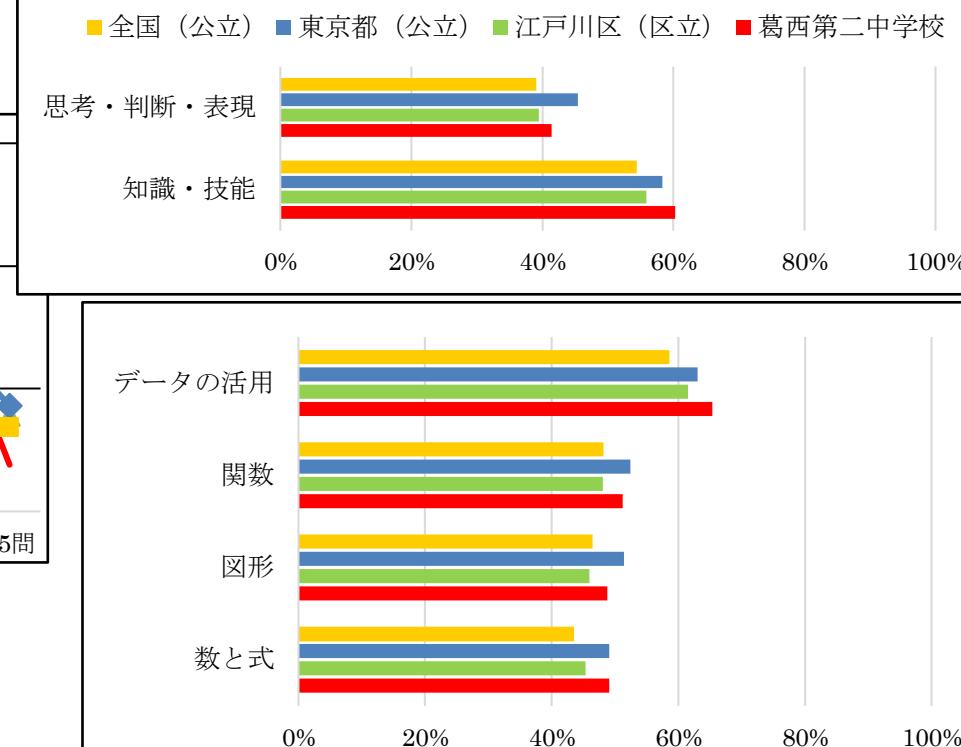
＜四分位における割合(都全体の四分位による)＞

上位 ← → 下位

数学	A層	B層	C層	D層
	12~15問	8~11問	4~7問	0~3問
葛西第二中学校	26.9%	26.0%	23.2%	24.0%
江戸川区(区立)	23.2%	24.0%	29.6%	23.2%
東京都(公立)	26.5%	27.0%	27.5%	19.0%
全国(公立)	20.9%	25.1%	30.2%	23.8%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の $1/4$ 、 $2/4$ 、 $3/4$ にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

葛西第二中学校	53%
江戸川区(区立)	49%
東京都(公立)	53%
全国(公立)	48.3%
都との差	0 ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

A・B 層の割合が区の平均を上回っている一方で D 層の割合が都の平均を上回っている。知識・技能の定着は見られるが、思考・判断・表現の正答率は全国と同様に低い。習熟度別少人数指導では、D 層の生徒にも C 層の生徒に合わせた授業を行うことで学習内容の定着を図りたい。5 分間テストで既習事項の定着を図りたい。